

「大地震に備える地域と 家庭の防災・危機管理」

平成23年3月の東日本大震災から4年が経過しました。地震大国日本ということを感じ、防災への関心など高まりを見せています。また関東に置いては首都直下地震等、巨大災害の発生が危惧されており、国・市町村が災害発生時、どのように対処すべきか、議論を重ねてきています。

平穏無事に日々の生活を過ごすためにも今一度、防災意識を更に高め、今後、予想される災害へ備えるとともに、今も猶、復興へ向けて取り組む被災地域への思いを風化させないために、本講演会を開催します。



【講師】

防災・危機管理アドバイザー

やまむら たけひこ

山村武彦先生

経歴 新潟地震（1964年）でのボランティア活動を契機に防災アドバイザーを志し、以降現場主義（真実と教訓は現場にあり）を掲げて、地震、津波等200か所以上の現地調査を行う。阪神・淡路大震災（1995年）発生時は2時間後に現地入りし、救助活動、調査活動を行う。近年も東日本大震災、伊豆大島土砂災害、ネパール地震災害などの現地調査を実施し、実践的防災・危機管理の第一人者といわれている。現在、執筆、講演活動、マスコミ出演等を通じ、防災・危機管理意識啓発に活躍中。

専門分野 防災・危機管理

所属学会等 日本災害情報学会、地域安全学会

主要著書 「近くの人が近くの人を助ける、近助の精神と防災隣組」（きんざい）

「防災・危機管理の再点検—進化するBCP（事業継続計画）」（きんざい）

「人は皆「自分だけは死なない」と思っている防災心理学」（宝島社）

とき 平成27年6月20日(土)午後3時～4時30分

ところ 鶴岡八幡宮直会殿（JR横須賀線鎌倉駅下車徒歩10分）

入場無料／どなたでもご来場いただけます

※予約等不要・但し先着200名まで・満席の際はご容赦下さい

主管

一般財団法人國學院大學院友会神奈川県支部

主催

一般財団法人國學院大學院友会

後援

神奈川県教育委員会・鎌倉市・神奈川新聞社・産経新聞社横浜総局・tvk（テレビ神奈川）・鶴岡八幡宮 槐の会

（お問い合わせ）

一般財団法人國學院大學院友会神奈川県支部事務局

〒248-8588 鎌倉市雪ノ下2-1-31 鶴岡八幡宮社務所内 TEL 0467 (22) 0315